

11月23日

Vパレード 労働格差露呈

「勤労感謝の日」の23日、大阪府と神戸市で行われるアーロ野球・阪神タイガースとオリックスバファローズの優勝パレード。会場整備要員として大阪府と大阪市が職員にボランティアでの参加を呼びかけたことに對し、労働組合が「業務として指示すべきだ」と批判している。府市を通じては、大阪・関西万博でも労働基準法を軽んじるよがな動きがあつたが、労働者監視の体質は「」から出でてくるのか。

(宮畠謙)

兵庫・神戸「出勤」

「本イベントを安全・円滑に実施するため」、警備員の配置に加えて、職員の皆さまにはボランティアの「協力を願いしたい」と考えております」

10月19日に大阪府の各部局長宛てに配布された文書がこんな言葉で協力を依頼していた。

Vパレードは大阪府や兵庫県、関西の経済団体などで構成する実行委員会が主催する。御堂筋で行う大阪府のボランティアは来場者の誘導や巡回路の案内など、活動時間は7時間。食事・交通費の支給はない。傷害保険は主催者が負担する。

大阪府と市でボランティア計3千人を目指す。当初は10月末が締め切りだったが、足りなかつたため7日まで延長した。府によると、6日の時刻で2300人以上の申し込みがあったといふ。

この対応に対し、三宮で行つ兵庫県は対応が異なる。動員する公務員は問題視。代休取得や時

間外手当支給、負傷した場合も実行委の一員なので業務として取り組む。安全性の観点からも本来業務としてやりてもいい」と語る。

この状況を大阪府職員労働組合は問題視。代休取得や時

間外手当支給、負傷した場合も実行委の一員なので業務として取り組む。安全性の観

点からも本来業務としてやり

11・23 同日実施

公務員の会場整備



大阪府市は「奉仕」

阪神、オリックスの優勝パレードコース

前出のボランティア依頼文書には、「2025年大阪・関西万博500日前！」とも